

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	224 民生委員活動経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本 施策	07 老後の生活や低所得者の自立を支える	目	02	民生事業活動費
		細目	186	民生事業活動経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	02	民生委員活動経費
担当部課	コード	130100		担当者 氏名
	名称	健康福祉部 厚生保護課		
		担当者 氏名	橋本浩三	連絡先
				22 - 9650 (内線) 2610

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	民生委員児童委員・主任児童委員	※対象件数
成果(どうする)	地域住民からの相談に適切な指導をするため、各種福祉制度の研修を行う。 地域住民からのパイプ役、相談相手として活動し、自立の援助をする。	
根拠法令・要綱等	民生委員法	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・無報酬で活動する民生委員児童委員・主任児童委員の運営、活動を伊賀市社会福祉協議会に委託する。 ・専門部会ごとに研修し、対象となる方に適切な福祉サービスが提供されるように関係機関・団体と調整を行う。 	
社会情勢 の変化等	平成19年度で、民生委員児童委員の一斉改選が行われた。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	民生委員児童委員・主任児童委員の数	人	目標	295	目標	295
			実績	295	実績	295
	役員会・理事会開催回数	回	目標	17	目標	17
			実績	18	実績	20

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標			
				実績			
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	10,213	10,213	11,185	10,314				
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	10,213	10,213	11,185	10,314				
事業投入人件費 (B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440				
フルコスト(A)+(B)	11,653	11,653	12,625	11,754				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <input type="text"/> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	災害時等において要援護者支援を迅速かつ的確に行うため、民生委員児童委員等の関係機関との間で情報の共有を図る。
昨年度の 取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/> 【詳細】

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	橋本浩三
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/> 【理由】 経常事務を行なうための経費のため必要である
現時点における 課題、その他	特になし
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	